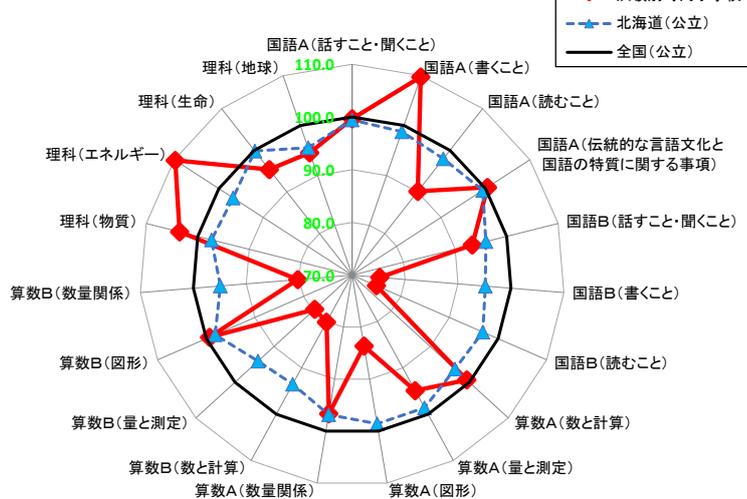


■ 浜頓別町内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 2校、児童数: 21人)

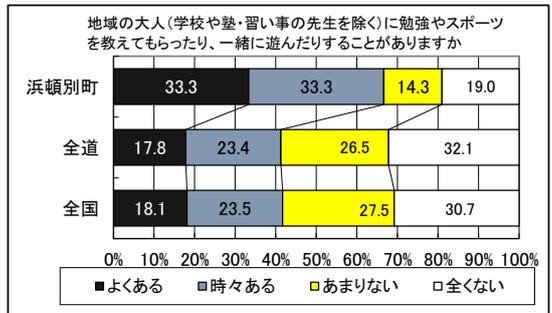
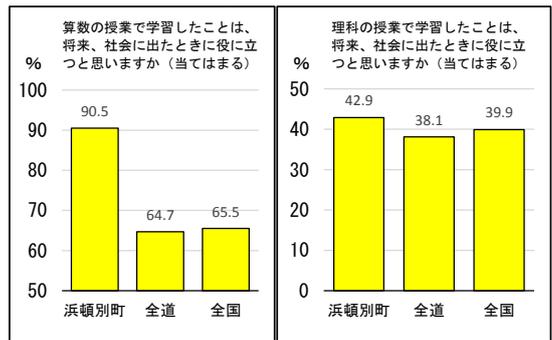
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

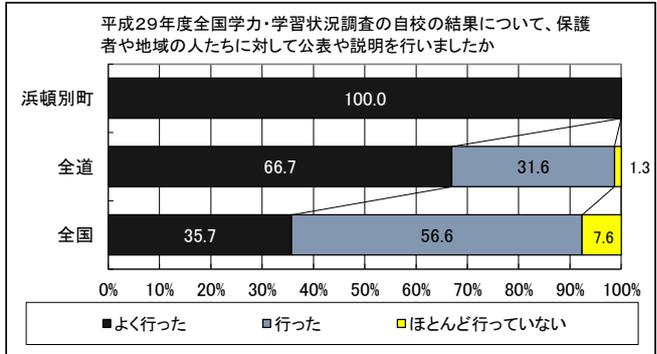
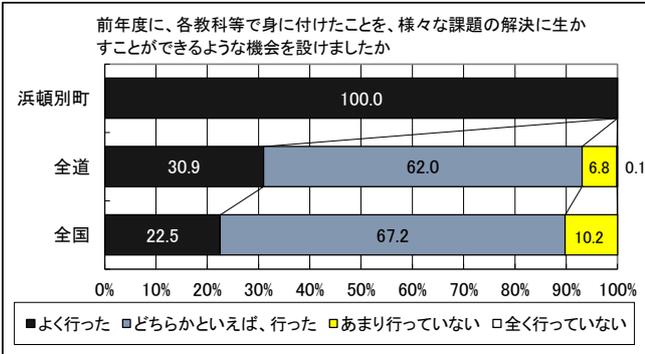
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「物質」「エネルギー」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校において、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けたことにより、児童が学習内容と社会生活との関連を意識するようになり、「算数及び理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数及び理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがよくある」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度の調査結果について、保護者や地域の人たちに説明を行うとともに、子ども朝活事業で地域と関わる機会を設定したことにより、保護者や地域の人たちと具体的な取組の共有化が図られ、「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがよくある」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が、「各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた」と回答している。 ○ 全ての学校が、「平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行った」と回答している。 	

【浜頓別町の学力向上策】

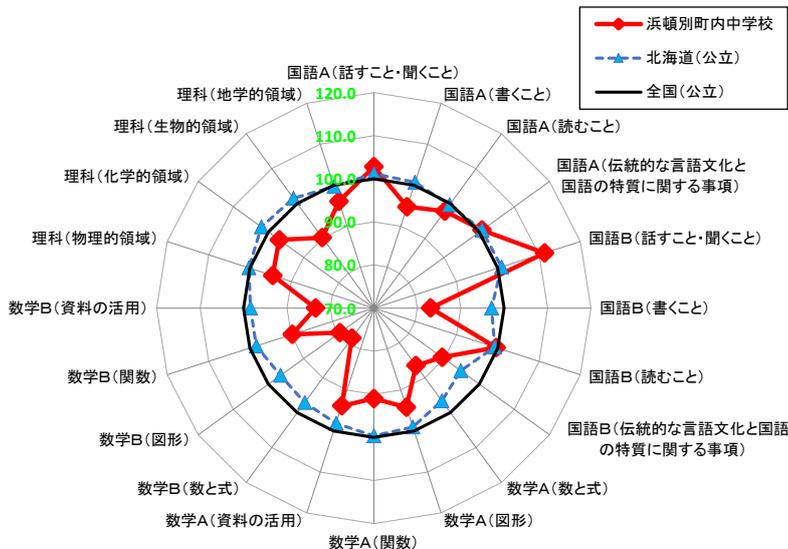
- ◎ 浜頓別町教育研究会、中頓別町合同教育研究会の活動支援による教職員の資質・能力の向上
- ◎ ティーム・ティーチングや習熟の程度に応じた指導の工夫・改善
- ◎ 長期休業中の学習会や土曜学習塾の実施
- ◎ 地域と連携した子ども朝活事業の実施
- ◎ 各種検定等の検定料の支援

■ 浜頓別町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:25人)

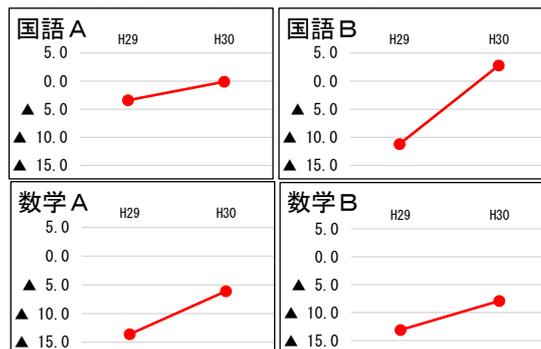
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

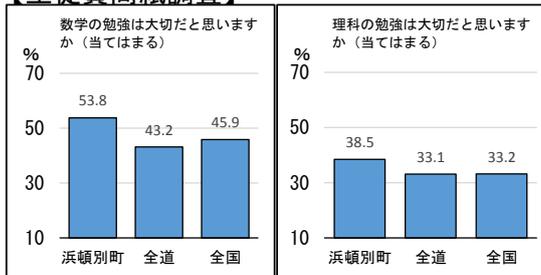


【平均正答率の全国との差の推移】

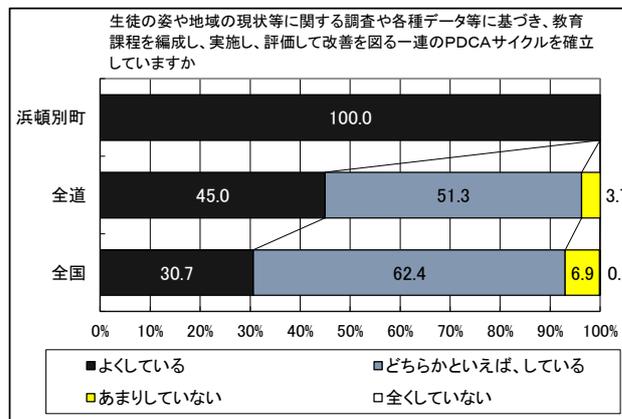
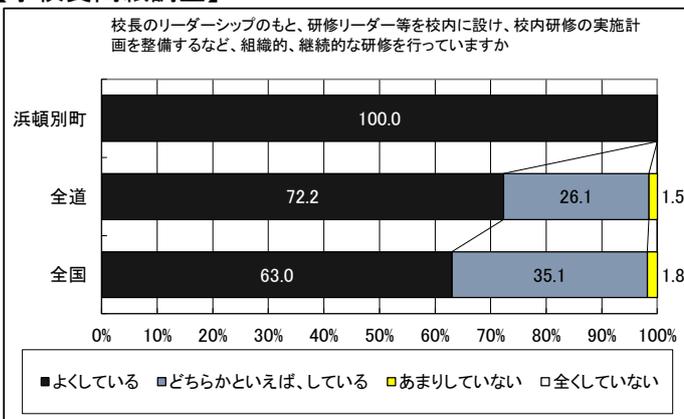


※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国及び全道を上回っている。 ○ 理科では、「化学的領域」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校長のリーダーシップのもと、組織的、継続的な研修を行ったことにより、各教科における教員の指導力が向上し、国語A・B及び数学A・Bで前年度を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「数学及び理科の勉強は大切だ」と回答している生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立したことにより、日常の授業改善が図られ、生徒の学習に対する意識が高まり、「数学及び理科の勉強は大切だ」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の姿や地域の現状等に関する調査、各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。 ○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている。 	

【浜頓別町の学力向上策】

- ◎ 浜頓別町教育研究会、中頓別町合同教育研究会の活動支援による教職員の資質・能力の向上
- ◎ ティーム・ティーチングや習熟の程度に応じた指導の工夫・改善
- ◎ 長期休業中の学習会や土曜学習塾の実施
- ◎ 各種検定等の検定料の支援